

第38号



ニュース

URL ; www.tops-h.net

\*加盟団体\*

- ・サンフレッチェ広島
- ・JTサンダース
- ・湧永製菓
- ・広島メイプルレッズ
- ・広島ガスバドミントン部
- ・NTT西日本広島ソフトテニスクラブ
- ・中国電力陸上競技部
- ・コカ・コーラウエストレッドスパークスホッケー部
- ・広島東洋カープ

薬物はダメ!!絶対!!  
選手がアピール



5月12日、見上げると雲ひとつ見当たらない青空の下、“薬物乱用防止キャンペーン”が開かれた。広島市中区の本通り商店街ではパレードも行われメイプルレッズの選手らが

参列し若者を中心とした道行く人々に薬物の危険性を訴えた。イベントを終えて選手2人にコメントをいただいた。

・ハンドボール以外のことで地域への貢献ができてよかったです。これからもこのような機会があれば参加していきたいです。

16番 田口 舞選手

・自分ひとりの体ではないから、自分のことを意識して考えて行動してほしい。見えてない部分からでも薬物乱用を無くしてほしいです。

2番 増田 寛那選手



5月3日～5日の3日間、フラワーフェスティバルにトップス広島も参加した。3日間でJTサンダース、ワクナガレオリック、広島メイプルレッズ、広島ガスバドミントン部、中国電力陸上競技部の5クラブが参加した。参加した選手たちは、トップス広島のブースでハンドボール7mスロー体験などの体験式のゲームを行い、ファンとの交流を果たすことができた。また、ブースでは各チームのユニフォームと新しく作成した紹介パネルを設置し、来場者に各チームを知っていただけたと思う。

初日には、トップス広島としてパレードにも参加した。パレードにより、来場者にトップス広島を大いにアピールすることができた。行進する先頭では、ワクナガレオリックの選手と広島メイプルレッズの選手のハンドボールを実際に使ったパフォーマンスも行われるなど、会場を盛り上げることができた。今後も様々な形でファンの方々に関わり、スポーツを通じて広島を盛り上げていけたら良いと思っています。

トップスひろしま大行進  
来場者に大アピール



女王の貫録!  
大量得点で開幕 2連勝  
GCW レッドスパークス



5月19日(土)にコカ・コーラウエストレッドスパークスホッケースタジアムで高円宮碑2012女子ホッケー日本リーグ・第1節、初戦のコカ・コーラウエストレッドスパークス対グラクソ・スミスラインの試合が行なわれた。初戦ともあって緊張する場面も見えたが5-0でグラクソ・スミスライン相手に勝利を飾った。前半は中盤でパスを上手く回し、要所でパスカットからのショートカウンターやPGやチャンスを作りだしてシュートまで持っていくことはできたが、引いた相手に攻めきれずに得点を奪えることはできなかった。硬さの抜けた後半は終始試合を支配し、5-0の大量得点で初戦を勝ち星で飾り好スタートとなった。

続く第2戦では山梨学院 CROWNING GLORIES と対戦。後半失点を喫して、2試合連続の完封勝利とはならなかったが、大量得点を奪うことができ、7-1で勝利した。

試合後のインタビューではこの日2得点の16番、金美善選手は「チームのためにゴールを決められてうれしい。これからはたくさん点を取りたい」と語った。またキャプテンの駒澤李佳選手は「今、目標にしているのは1戦1勝で、得点をとって無失点でいくことです」と語り、「チームとしては4冠を目指しています。個人個人が責任を持ったプレーをすることでそれがチーム力になると思います」と抱負を述べた。

13年ぶり日立柏で勝利  
サンフレッチェ広島

サンフレッチェ広島は5月6日、柏レイソルと対戦した。広島は前半10分、石原のクロスを、佐藤がヘディングで決めて先制。その後、柏がボールを支配する時間が続くが、後半2分、高萩のスルーパスを受けた佐藤が左足で押し込み、点差を2点に広げる。しかし後半15分に1点を返され、後半33分には同点に追いつかれてしまう。しかし、後半40分広島のミキッチのクロスに反応した高萩が右足ダイレクトで決め、逆転に成功。今シーズン初ゴールに高萩は「今までゴールできなかったので、大事な試合で決勝点をくれてよかった」と喜びを爆発させた。その後、後半ロスタイムにも高萩からのアシストなどで石原が立て続けに2点を決め勝利を決定づけた。鬼門日立柏で5-2と13年ぶりの勝利をおさめた。

念願のJ初制覇に向け、このまま団結して頑張りたい。

◆J1リーグ結果◆

第8節	○ 4-1	川崎	等々力
第9節	● 0-1	新潟	広島ビ
第10節	○ 5-2	柏	日立柏
第11節	● 1-3	横浜FM	広島ビ
第12節	○ 3-2	神戸	広島ビ



# 水澤・岩崎ペア優勝で 日本代表決定！



NTT 西日本ソフトテニスクラブ



5月3日(木、祝)～5日(土、祝)に大阪市の韮テニスセンターで第7回アジア選手権大会日本代表予選大会が開催された。この大会は、今秋(11月)に台湾で開催される第7回アジアソフトテニス選手権(4年毎の開催)の日本代表を決める大切な選抜大会だ。また、アジア選手権の日本代表は男女それぞれ6人である。そのうち2人ずつ、すなわちこの大会で優勝した男女のペア

がこの選抜大会で決定されて日本代表となる。男子チームからは堀・長江ペア、村上・中本ペア、水澤・岩崎ペア、女子チームからは佐々木・大庭ペア、中野・小林ペア、水間・岩田ペア、三好・伊東ペア、榎本・柴田ペアが出場した。

NTT西日本広島ソフトテニスクラブの個別認定選手である堀・長江ペア、村上・中本ペア、佐々木・大庭ペア、小林は残念ながら優勝には手が届かなかった。しかし強豪選手が敗退していく中で一際目立っていたのが男子チームの水澤・岩崎ペアだった。ナショナルチームではない彼らは自分たちのペースを崩さず、自分たちの力で見事に優勝を勝ち取り、日本代表となった。勢いを見せてくれた NTT 西日本広島ソフトテニスクラブ。今後も各選手たちの活躍に注目したい。

# 小池・今別府組準優勝 2012 ランキングサーキット大会

2012 ランキングサーキット大会が5月12日から16日まで埼玉県のさいたま市総合体育館で行われた。広島ガスからは女子シングルの部で井上静華選手、女子ダブルスと混合ダブルスの部で小池温子選手、女子ダブルスの部で前田園美・桜井みどり選手がそれぞれ参加した。シングルの井上選手は初戦で敗れて迎えた17位決定戦で山口茜(勝山南部中)と対戦したが、こちらも2対0で惜しくも敗れた。女子ダブルスは小池温子・今別府靖代(ヨネックス)組は4連勝で迎えた決勝。福万尚子・奥楢くるみ(共にパナソニック)組と対戦。しかし、2対1で敗れてしまい惜しくも準優勝に終わった。女子ダブルスの部、前田園美・桜井みどり組は初戦で敗れ続け女子ダブルス17位決定戦。小森美希・村山裕美(共に北都銀行)と対戦。2対1で見事勝利した。混合ダブルス木村雄一郎(ジェイテクト)・小池温子組は初戦を勝利し、続いて車淳史(金沢学院クラブ)・中村紋子(三菱電機)組と対戦。惜しくも2対0で敗れてしまった。

今年は1年での1部復帰に向けて頑張ってもらいたい。



# ワクナガレオリック メイプルレッズ 新体制確定！



先月23日に引退試合を行った山中選手と東長濱選手の引退後、レオリックの新体制が確定した。東長濱選手の後任のキャプテンとして GK の志水選手が就任した。副キャプテンには、CB の佐藤選手と PV の今井選手が座り、15年ぶりの優勝に向けてスタートをきった。また、2シーズン目に入る玉村監督の采配にも注目し、主力選手の2人が抜けた大きな穴を埋めることができるかどうか日本リーグ制覇の鍵を大きく握ると考えられる。2人の引退により若手を中心としたポジション争いにも熾烈となり、新シーズンの活躍が注目される。2012-2013 シーズン、ワクナガレオリックのタイトル奪還に期待大である。

また、メイプルレッズも新体制を発表した。キャプテンは新城明奈選手が就任し、新コーチとして大前典子選手が、選手兼任でコーチに就任した。新たな体制で臨む今シーズンに大きく期待したい。

# JT サンダーズまさかのグループリーグ敗退 第61回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会



JT サンダーズは5月1日から5月6日まで行われた「第61回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会」に出場した。1日に行われた初戦のジェイテクト戦は、混戦とした試合となり、小川、八子のスパイクなどで応戦したが、セットカウント2-3で敗れた。グループリーグ初戦を落とし、決勝トーナメント進出に向けてもう後のない戦いとなった2日の明治大学戦。この試合がデビュー戦となる安永の活躍で試合を優位に進めるも、大学生の思いきったプレーや自分たちのミスなどから苦戦し、この日の試合もセットカウント2-3で敗れた。明治大学戦が終了した時点で決勝トーナメントへ進出できないことが確定した3日の東レ戦。V・プレミアリーグ所属チームの意地を見せ、第1・第2セットを連取し、勝利で終わらせる流れを掴んだように見えたが、第3セットから自分たちのミスが目立ち、この試合がデビュー戦となったベゼラの投入で巻き返しを図るも点差を詰められず、第3セットを落とした。なんとか、巻き返したいJTサンダーズだったが、その後も第4・第5セットも落とし、逆転負けを喫した。

# 浮上の起爆剤となるか！？ 主砲ニック 広島東洋カープ



ニックが栗原の穴を埋める活躍を見せている。ニックの4番での成績は5月18日現在、打率.308、打点18、8本塁打と昇り調子だ。5月8日の阪神戦(新潟)では第1打席から3打席連続本塁打を放った。2本目の本塁打は直前にボール際へ大ファウル。気落ちせずその後左翼席に叩き込んだ。翌日も右翼席に本塁打。しかし、好調の助っ人とは対照的にチームは連敗し波に乗り切れなかった。1試合3打席連続本塁打は統一球採用後初、来日1年目の外国人選手としては広島では初めて。ホームラン数は現在8本とチームトップを独走している。しかし、いくらニックにホームランが飛び出ても、白星に繋がらぬジレンマを抱えているのが現実だ。

セ・パ交流戦初戦の楽天戦(同17日マツダスタジアム)も新鋭新島に押さえ込まれ9回までわずか1安打。それもニックが放った。バントの無得点ピッチングも報われず延長の末0-1の黒星。今季も貧打に嘆くシーンが相次いでいる。5月半ば時点で規定打席に到達し、打率3割を超す選手は見当たらない。昨季、リーグ2位の打点を残した主砲の栗原は右肘の手術を受け、復帰まで長期間要しそうだ。カープ浮上の起爆剤はニックのバットにかかっている。

ファンとしてはせめて1勝して欲しかったが、それも願わず結局1勝もできないまま今大会から姿を消すことになった。3試合ともにセットカウント2-3の接戦になり、良い試合をしていただけにあと一歩というところで精神面に差が出てしまったのかもしれない。

またJTサンダーズは新体制を発表し、徳元幸人選手のコーチ就任および、小川旭選手、田村裕之選手、平野信孝コーチの退部を決定した。田村選手は退職し、小川選手と平野コーチは社業に専念する予定。

# 広経大監督に尾方氏就任

中国電力  
陸上競技部

4月27日、広島経済大学陸上部は新しい監督として中国電力の尾方剛氏が就任した。尾方氏は広島市内で会見した。尾方氏は「苦しみながらも好きで指導者として1からやっていくことを決めて」と話した。尾方氏は山梨学院大学卒業後、中国電力に入社。その後04年に福岡国際マラソンで優勝、05年世界陸上で銅メダルを獲得するなどマラソン界を大きく盛り上げた。広島経済大学は2007年の全日本大学駅伝の出場が最後であり、世界で羽ばたいた尾方監督の手腕に期待が集まる。尾方氏は「是非とも活躍を期待したい。」



**\* ロゴマークの意味 \*** 広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。